

「グラフや表を用いて書こう」

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語・総合的な学習の時間 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・参考図書（年鑑・統計書など）から、必要な統計情報を選ぶことができる力。
- ・収集した統計資料を用いて、自分の考えを書く力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・年鑑や統計書などに触れさせるために、公立図書館と連携して一人1冊以上準備する。
- ・統計資料を用いるときや子どもたちが調べ学習を行うときは、司書教諭または学校司書等が一人ひとりの子どもの調べたいことを見つけるように支援する。

○ 学習の展開（全8時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会は、くらしやすい方向に向かっているのか？ データから考えよう」という課題を設定する。 ・くらしやすい社会とはどんなものか、考える。 ・付箋に書きながら分類し、イメージを広げる。（グループで協働作業） ・自分が調べたいテーマを絞る。（個人作業） ・教科書の例文を通して、文章の構成を理解する。 ・統計資料の効果的な活用の仕方を学ぶ。
第2次	<ul style="list-style-type: none"> ・年鑑・統計書などの使い方を知る。 ・自分の意見をうらづけるための資料は何かを考え、必要な統計資料を探す。 ・統計資料を読み取る。（数値・傾向を読む。何がわかるのか、どのように考えられるのか、自分の考えの根拠となっているかを検討する。）
第3次	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えと理由（初め）」、「根拠となる資料の解釈（中）」、「結論（終わり）」の構成で意見文を書く。 ・ワークシートにまとめる。 ・統計資料をつけて清書する。 ・できた意見文を読み合い、交流する。

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・自分の課題を意識しながら、複数の本から資料を探していた。・児童は統計資料に興味を持ち、ほかの事柄も調べようとしていた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・グラフなど資料の読み取り方の基本はできているが、その数値が何を意味しているのかを考えることが弱い。・自分の課題に合う資料を取り出せない児童がいた。・グラフなどの資料の読み取り方を、系統立てて習得させる必要がある。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・自分の探していた資料が見つかってうれしかったし、楽しかった。・いろいろなグラフがあると思った。グラフを見たら、多いとか少ないとわかりやすいことがわかった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・年鑑には何が書いているのかを知らせ、使い方など基本的なことを学習した。・グループに 1 冊、年鑑を持たせ資料を読み取る練習をした。「日本の姿」などの統計資料、関連図書の中にも資料があることを知らせた。多様な本をジャンルごとに用意した。・一人ひとりが、課題を絞り込み「自分の課題をはっきりもつこと」を意識させた。・言葉の理解を助けるため、辞書を用意した。
--